



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好
発行月 H30年 10月
No.18

秋

まささかり!



例年よりも山の紅葉が美しいという情報もあります。公園の木々の葉もすっかり色づいてきました。十月は「神無月」といわれています。出雲の神様は大国主の命。(おおくにぬしのみこと)その子供たちが全国においでになり、年に一度出雲に集められます。そして、来年の農作物の事、天候の事等もそろそろのことについて相談しますが、最大の議題は「縁結び」だそうです。地方に神様が居なくなるので神無月、出雲の方では神有月というのですが、伊勢神宮の神様は「天照大御神」「豊受大御神」なので出雲には行きません。

我が家の「ヤマのカミ」は伊勢系なのか、どこにも行かず鎮座しておられまして、威張っております、ではなく優しく見守ってくださいられています。ありがたいことです。

パンパン! (かしわ手)

え!? 米をたべない?

田んぼが美しく黄金色になり、スーパーなどでも新米が出回るようになってきました。

新米の香り、つやつや輝いた炊き立てのご飯、もうたまりません。ところが、子供達からはコメ離れが進んでいるという報道がされていました。ある中学校では「セレクト給食」でパンかご飯か選べますが、圧倒的にパンが人気だそうです。小さな子供達も、ご飯は味がしないから嫌いだという子が増え、親たちも仕方なく、それに同調しているということです。なんということでしょう!!

米を噛みしめていると、口の中にゆっくりと独特な甘みが広がっていきます。この繊細な味を、知らない子供達が増えているとは、誠に嘆かわしいことです。昔、学校で「ツルツル飲まずによくカメカメ」などと教えられたものです。忙しくてゆっくりと噛んでなどいられないのでしょうか。子供達にもゆったりとした食事の習慣をつけ、コメのおいしさに気づかせてやりたいものです。



きらくな畑で野菜が豊作です。
一緒に食べませんか?
ざる菊、コキアもきれいですよ。

恩返しかな?

私たち「きらくな会」では様々な面で町の人たちにお世話になっております。さすがにまだ、徘徊していて助けていただくといった事はありませんが、町会費で予算を付けてくださったり、高齢の会員に優しく接して下さったりと、お陰様で私たちも楽しく生き生きと活動させて頂いております。その為、少しでも恩返しができますように、活動内容にも気を配っております。

昨年は

- 子供達の芋掘り体験
- 子供達との水鉄砲つくり
- 土手の草刈り
- 竹やぶの整理 等
- 今年に入ってから
- 子供達の通学見守り
- 犬の糞なくし活動
- じゃが芋掘り体験
- サツマ芋掘り体験
- 土手の草刈り
- 竹やぶの整理
- これからは
- 竹製けん玉作り



なども計画しています。子供達が安全に楽しく過ごせたり、町がきれいになったり少しでも町内の皆様のお役に立てたら嬉しく思います。先日、久し振りに二か所犬の糞を見つけました。また、黄色い旗を立ててきます。

ただ楽しく遊んでいるばかりでなく、これからも、こうした活動を積極的に継続していきたいなと思っております。

